

## 相模原市立藤野やまなみ温泉条例

平成 18 年 12 月 25 日

条例第 101 号

改正 平成 21 年 12 月 22 日条例第 36 号

平成 27 年 10 月 1 日条例第 63 号

## (趣旨)

第 1 条 この条例は、相模原市立藤野やまなみ温泉の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

## (設置)

第 2 条 市民の健康及び福祉の増進を図り、ふれあいと安らぎの場を提供するとともに、地域の振興及び観光の発展に寄与するため、相模原市立藤野やまなみ温泉(以下「やまなみ温泉」という。)を相模原市緑区牧野 4 2 2 5 番地 1 に設置する。

(一部改正〔平成 21 年条例 36 号〕)

## (休館日)

第 3 条 やまなみ温泉の休館日は、次のとおりとする。

(1) 水曜日。ただし、水曜日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が定める日

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

3 市長は、第 1 項第 2 号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

## (利用できる時間)

第 4 条 やまなみ温泉を利用できる時間は、午前 10 時から午後 9 時までとする。

ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 市長は、前項ただし書の規定によりやまなみ温泉を利用できる時間を短縮する変更をするときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

## (利用の承認)

第 5 条 やまなみ温泉を利用しようとするものは、市長の承認を受けなければなら

ない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

- 2 市長は、やまなみ温泉の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

- (1) やまなみ温泉における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) やまなみ温泉の施設及び器具(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (3) 集团的又は常習的に暴力その他不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、やまなみ温泉の管理上支障があると認められるとき。

(利用料金)

第7条 やまなみ温泉の利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、第18条の規定によりやまなみ温泉の管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)に対し、やまなみ温泉の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

- 2 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。
- 3 利用料金は、前納とする。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(回数利用券の発行)

第8条 指定管理者は、市長の承認を得て、券面額から割引をして得た額をもって当該券面額の回数利用券を発行することができる。

- 2 前項に規定する回数利用券により利用することができる施設は、温泉施設とする。

(利用料金の減免)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第 10 条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

(利用承認の取消し等)

第 11 条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、市長は、これらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

( 1 ) 利用者が第 5 条第 2 項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。

( 2 ) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。

( 3 ) 第 6 条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

( 4 ) 災害その他やむを得ない理由により市長が必要と認めたとき。

( 5 ) 前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第 12 条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第 13 条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第 14 条 市長は、やまなみ温泉の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第 15 条 何人も、やまなみ温泉において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、市長の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第 16 条 利用者は、やまなみ温泉の利用を終了したとき、又は第 11 条の規定に

より利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

- 2 利用者が前項の義務を履行しないときは、市長がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第 17 条 やまなみ温泉の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第 18 条 市長は、やまなみ温泉の設置の目的を効果的に達成するため、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項の規定により、その管理を法人その他の団体であつて市長が指定するものに行わせるものとする。

(指定管理者の公募)

第 19 条 市長は、指定管理者の指定をしようとするときは、公募するものとする。

(指定管理者の指定の申請等)

第 20 条 前条の規定による公募(以下「公募」という。)に係る指定管理者の指定を受けようとするものは、やまなみ温泉の管理に関する業務の実施方法その他の事項についての計画書(以下「事業計画書」という。)その他市長が必要と認める書類を添えて、市長に申請しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定により申請したもののうち、次に掲げる基準(以下「指定の基準」という。)に最も適合していると認めるものを、指定管理者として指定するものとする。

(1) 事業計画書の内容がやまなみ温泉の管理に関する業務の適正かつ確実な実施のために適切なものであること。

(2) 事業計画書に沿ったやまなみ温泉の管理に関する業務の適正かつ確実な実施に必要な能力を有するものであること。

(指定管理者の指定の特例)

第 21 条 前条の規定にかかわらず、市長は、次の各号のいずれかに該当する場合で、かつ、特に緊急を要するため新たに公募を行う時間的余裕がないことが明ら

かである場合は、法人その他の団体の中からやまなみ温泉の設置の目的を最も効果的に達成することができると思料するものを指定管理者として指定することができる。

( 1 ) 前条第 2 項の規定により指定管理者として指定しようとしたものが、地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 6 項の規定による議会の議決を経るまでの間に、新たに判明した事実によりやまなみ温泉の管理を行うことが不適当と認められた場合又はそのものの事情により指定管理者の指定を辞退した場合で、同一の公募により、前条第 1 項の規定による申請(以下「指定の申請」という。)をしたものに指定の基準に適合していると認めるものがないとき。

( 2 ) 指定の申請をしたものに指定の基準に適合していると認めるものがない場合

( 3 ) 指定の申請をするものがない場合

2 市長は、前項の規定により指定管理者として指定しようとするときは、当該団体に対し、前条第 1 項に規定する書類の提出を求め、指定の基準に適合していることを確認して当該団体を指定管理者として指定するものとする。

(その他の事項の規則委任)

第 2 2 条 第 1 8 条から前条までに定めるもののほか、指定の申請の資格、指定管理者の指定の手続等について必要な事項は、別に規則で定める。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 2 3 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

( 1 ) やまなみ温泉の休館日を定めること(第 8 号に規定する業務の遂行上必要と認められる場合に限る。以下この号において同じ。)、休館日を開館日とすること、及び利用できる時間の変更に関する業務。ただし、やまなみ温泉の休館日を定め、休館日を開館日とし、又は利用できる時間を短縮する変更をするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

( 2 ) やまなみ温泉の利用の承認、利用の制限、利用の承認の取消し等に関する業務

( 3 ) 特別な設備等の使用等の承認に関する業務

( 4 ) 入館の制限等に関する業務

( 5 ) 販売行為等の許可に関する業務

( 6 ) 第 1 6 条第 2 項の規定による原状回復に係る事務の執行及びこれに要した費用の徴収に関する業務

( 7 ) 市民の健康及び福祉の増進並びに地域の振興及び観光の発展を図るための事業の実施に関する業務のうち、市長が別に定めるもの

( 8 ) やまなみ温泉の施設等の維持管理に関する業務のうち、市長が別に定めるもの

( 9 ) 前各号に掲げるもののほか、やまなみ温泉の管理上必要と認められる業務で、市長が別に定めるもの

(指定管理者の管理に係る読替え)

第 2 4 条 やまなみ温泉の管理を指定管理者が行う場合において、第 3 条から第 6 条まで、第 1 1 条、第 1 3 条から第 1 5 条まで、第 1 6 条第 2 項及び第 1 7 条の規定の適用については、第 3 条第 1 項第 2 号中「市長」とあるのは「市長又は第 7 条第 1 項に規定する指定管理者」と、同条第 2 項及び第 3 項、第 4 条並びに第 5 条中「市長」とあるのは「第 7 条第 1 項に規定する指定管理者」と、第 6 条中「市長」とあるのは「次条第 1 項に規定する指定管理者」と、第 1 1 条、第 1 3 条から第 1 5 条まで、第 1 6 条第 2 項及び第 1 7 条本文中「市長」とあるのは「指定管理者」とする。

(委任)

第 2 5 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 1 9 年 3 月 1 1 日から施行する。

(藤野町の編入に伴う経過措置)

2 藤野町の編入前に旧藤野やまなみ温泉の設置及び管理に関する条例(平成 1 8 年藤野町条例第 1 9 号。以下「旧町条例」という。)第 4 条の規定に基づき町長が指定したものについては、第 1 9 条から第 2 2 条までの規定は適用しない。

3 この条例の施行の日前に旧町条例の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成 21 年 12 月 22 日条例第 36 号抄)

この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 10 月 1 日条例第 63 号)

この条例は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別表(第 7 条関係)

(一部改正〔平成 27 年条例 63 号〕)

区分				利用料金
温泉施設	3 時間まで	大人		780 円
		小学生		390 円
		障害児者		390 円
	1 日	大人		1,170 円
		小学生		650 円
		障害児者		650 円
特別室	3 時間まで	カシワ	全室	3,000 円
			半室	1,600 円
		フジ	全室	2,000 円
			半室	1,200 円
	1 日	カシワ	全室	10,000 円
			半室	5,500 円
		フジ	全室	7,000 円
			半室	4,500 円

備考

- 1 大人とは、中学生以上の者をいう。
- 2 小学校就学前の者の温泉施設の利用料金は、無料とする。
- 3 障害児者とは、身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)第 12 条第 1 項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和 35 年法律第 37 号)第 12 条第 1 項に規定する知的障害者

更生相談所において知的障害者と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者をいう。

- 4 温泉施設を利用する者が利用の承認を受けた時間を超過して利用した場合の当該超過に係る利用料金の額は、超過時間1時間(1時間未満の端数は、これを1時間とみなす。)につき、130円とする。
- 5 特別室を利用する者が利用の承認を受けた時間を超過して利用した場合の当該超過に係る利用料金の額は、超過時間1時間(1時間未満の端数は、これを1時間とみなす。)につき、当該利用に係る3時間までの利用料金の額に50パーセントを乗じて得た額とする。